

市政記者各位

令和6年7月18日

2024年(第34回)福岡アジア文化賞 公式行事・取材募集のお知らせ

イベント参加申込受付を開始します！

今年の福岡アジア文化賞の公式行事を下記の通り開催します。

大賞受賞者の真鍋大度氏の市民フォーラムでは、パフォーマンスも予定しています。

いずれも参加無料ですので、市民の皆様へ周知をお願いいたします。

また、受賞者への個別取材も募集します。希望される場合は、下記までご連絡ください。

行 事		会 場	日 時	申込締切
授賞式		福岡国際会議場 メインホール	9月26日(木) 18:30~20:00	9月5日(木)
市民 フォー ラム	大賞 真鍋 大度	ユナイテッドラボ メインホール	9月27日(金) 18:30~20:30	9月25日(水)
	学術研究賞 スニール・アムリス	アクロス福岡 4F 国際会議場	9月28日(土) 13:00~15:00	9月26日(木)
	芸術・文化賞 キムスージャ	福岡アジア美術館 あじびホール	9月28日(土) 17:00~19:00	

【福岡アジア美術館にて記念展開催！】

9/14~10/29 にキムスージャ氏の初期インスタレーション作品《演繹的オブジェ》と代表作《針の女》の映像作品を展示します(大人 200 円)

各行事の内容詳細と申込方法は、添付のチラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

総務企画局国際部アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）担当：長岡、円城寺

お問い合わせ先

Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130

福岡アジア文化賞 URL

<https://fukuoka-prize.org/>

 第34回

福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2024

大賞
真鍋 大度
メディアアート

芸術・文化賞
キムスージャ
アート

学術研究賞
スニール・アムリス
歴史学

授賞式 / 市民フォーラム

9.26_(木) - 28_(土)

主催 福岡市 / (公財)福岡よかトピア国際交流財団

授賞式

参加
無料

申込期間▶7.18～9.5まで ※定員に達し次第終了

お問い合わせ先

フリーダイヤル

0120-935-993 (平日10:00～17:00)
fukuokapriz2024@intergroup.co.jp

Webサイトから
お申し込み
ください



9.26 木 18:30～20:00

【会場】

福岡国際会議場

メインホール(博多区石城町)

同時通訳

アジア文化への貢献をたたえる福岡アジア文化賞。今年を受賞者が一堂に会する授賞式典を行います。輝かしい功績を紹介するとともに、受賞者によるスピーチをお届けします。喜びの瞬間にぜひお立ち会いください。筑前博多独楽の祝賀パフォーマンスもお楽しみいただけます。

市民フォーラム

参加
無料

申込期間▶7.18～開催2日前 ※定員に達し次第終了

お問い合わせ先

080-1744-0545

(平日10:00～17:00)

34fprize-pl@sametwo.co.jp

Webサイトから
お申し込み
ください



大賞

真鍋 大度

9.27 金 18:30～20:30

UNITEDLAB

パフォーマンスあり

メインホール(中央区大名)

【登壇】藤岡 定(anno lab代表取締役)

松隈 浩之(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

身体性と機械がシンクロするアート

2008年に制作、世界30都市以上で発表された真鍋氏の代表作品を現代的にアレンジし、ライブパフォーマンスとして再公開します。顔、低周波刺激装置、筋電センサー、Wiiリモコン®を用い、表情を機械的に制御・コピーし、人間と機械の関係を探求するアートフォームです。作品についての講演、クロストークも併せて開催します。



"Face visualizer, instrument, and copy"

学術研究賞

スニール・アムリス

9.28 土 13:00～15:00

アクロス福岡

4F 国際会議場(中央区天神)

同時通訳

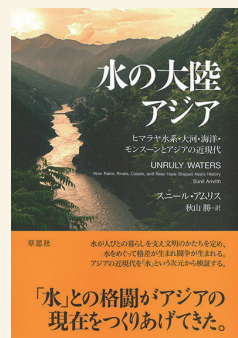
【対談】神田 さやこ(慶應義塾大学経済学部教授)

脇村 孝平(大阪経済法科大学経済学部客員教授)

「ベンガル湾」の歴史、そして私たちにとっての「環境問題」の未来

19世紀後半から20世紀前半にかけて、南アジアと東南アジアにまたがる「ベンガル湾」を超えて、約2700万の人々が労働現場へと移住しました。

スニール・アムリス氏は、このような移民に関わる歴史の理解が、今日この地域が直面する環境問題(気候変動、地下水の枯渇、海面水位の上昇など)を考えるためにも決定的に重要であると指摘します。



著書「水の大陸アジア」

芸術・文化賞

キムスージャ

9.28 土 17:00～19:00

福岡アジア美術館

あじびホール(博多区下川端町)

同時通訳

【対談】片岡 真実

(森美術館 館長/国立アートリサーチセンター センター長)

福岡アジア美術館にて記念展開催!

9/14～10/29にキムスージャ氏の初期インスタレーション作品《演繹的オブジェ》と代表作《針の女》の映像作品を展示します(大人200円)。

縫う、包む、解く — キムスージャの世界観

立体、映像、インスタレーションなどキムスージャの多様な作品には、縫う、包む、解く、といった概念が通底しているといえます。それは私たちの身体や呼吸にも関連するものです。韓国を起点にアジアの文化に触れ、現在は世界で活躍するキムスージャ。世界各地で分断や衝突が続く今日、彼女の作品を通して壮大な宇宙観や普遍的な真理について考えます。



キムスージャ《演繹的オブジェ》
1997年 福岡アジア美術館所蔵

撮影:四宮佑次